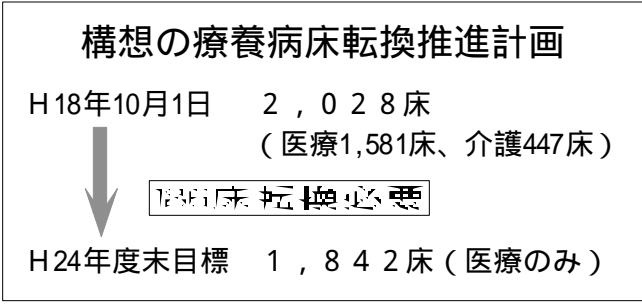


「山形県地域ケア体制整備構想」策定

どうなる今後の高齢者介護？



県は、昨年12月、地域ケア体制の望ましい将来像、療養病床の転換の推進、を内容とする地域ケア体制整備構想を策定しました。この構想が、策定中の医療費適正計画や保健医療計画に反映され、また次期の介護保険事業計画などにも反映されることとなります。国が療養病床20万床を削減する方向を示した

ことに、県内で異論が相次ぎ、私も議会で取り上げてきましたが、県は構想の中で療養病床が少ない山形県の実態を考慮するとして、2012年までに1842床とする計画です。しかし、昨年8月の医療機関に対する転換意向調査のアンケートでも、具体的な転換先を示しているところは介護病床の73床のみとなっています。「次期介護保険事業計画策定にあたっては、平成20年度調査結果をふまえて」としてはいますが、療養病床をかかえる医療機関の苦悩が感じられま



2008年2月10日
第23号
発行
日本共産党県議会議員
渡辺ゆり子
〈連絡先〉
日本共産党県議団執務室
電話 023-630-3241
自宅：山形市青田2-10-5
電話 023-642-2365

総選挙勝利 政治の春をよぶ山形のつどい開催

-高橋ちづ子衆院議員国会報告-

2日、日本共産党と後援会主催で総選挙勝利をめぐす決起と交流のつどいが開催され、佐藤まさゆき1区候補者（比例代表と重複候補）があいさつと決意表明を行い、東北ブロック比例代表候補で現職の高橋ちづ子衆院議員が国会報告をかねて再選勝利を訴えました。

国会報告の中で高橋議員は、道路特定財源の暫定税率をめぐって「つなぎ法案」が撤回されたことにふれ、「議長あつせん でつなぎ法案取り下げとなったが、日本共産党が積極的提案をし野党合意の一定の役割を果たした。国会の場で今後議論を深めていく」と述べ、「後期高齢者医療

4月実施中止や撤回、見直しを求める運動が急速に広がっており、他党議員をも動かしつつある」と展望を示しました。そして、「この間の国会で国民の立場で前向きに国政を動かしてきた日本共産党の議席を必ず勝ちとらせたい」と訴えました。私自身も「総選挙勝利へともにかんばろう」と呼びかけました。この間、県内各地で同様のつどいが開催されており、私も代理弁士として県政報告をかね、川西町、長井市などでも訴えています。



戦争体験者の話を聞く会に参加

山形女性九条の会へ参加

2日、「今語っておきたい、今聞いておきたい」と開かれた山形女性「九条の会」主催のつどいに参加しました。サイパン島の戦争体験や中国残留孤児の戦中戦後の体験を聞くことができました。子どもの頃に家族を戦争

で失い、恐怖と苦しみを強いられた体験をじかにお聞きすると、命を奪う戦争の理不尽さが伝わってきます。戦争をしない未来のために特に若い方に内容を伝えていかなければと思いました。

ゆり子の視点



中国冷凍ギョウザから見える日本の食の実態

3日、山形地方農民連の総会に出席しましたが話題になったのは、中国冷凍ギョウザの問題です。県も調査や対応に追われましたが、県内では今のところ冷凍ギョウザと関係する健康被害はないようです。輸入食品に対する様々なチェック体制強化は当然ですが、多くの食品を他国からの輸入に頼らざるをえない日本の状況が問題です。

生産者、農家の方々の怒りやくやしは大きなものがあります。「これだけ自給率を下させて」「やっぱり食糧主権を確立させねば」「農民連の会員さんの熱い思いが伝わってきました。『できるだけ国産のものをそして山形のを』消費者もおおいに声をあげ実践し、食糧自給率向上へ、ともに力を合わせようではありませんか。